



輝け！北っ子！

令和4年度の学校経営・運営② ～次年度に向けてしっかり検討中～

前回の学校だよりNo. 86でお話しさせていただいた「(途中)総括」に続き、今回は学校教育を進めていく上で、前提となる「子ども観」「教師観」「保護者・地域観」等についてお伝えしたいと思います。これは、学校を構成するメンバー（子ども、教師、保護者・地域）にはできればこうあってほしいという願い、大内個人が考える理想の姿とも言い換えることができるかもしれません。

【(大内が思う) 子ども観／教師観／保護者・地域観】

《子ども》 元気・笑顔・やさしさ

- 元気いっぱい いつもハツラツとしている子ども
 明るいあいさつ／生き生きと自分から活動／声に張り／
 自分の思いを言葉にする
 規律の意識はもっている（例 ろうかを走る→先生を見つける→止まる）
- 挑戦を繰り返し、立ちあがる子ども（レジリエンス）
 とにかくやってみようとする／失敗してもめげない／根拠のない自信
- パワー全開で楽しむ・活動 超まじめに参加するメリハリのある子
 やるときはとことんやり尽くす／まじめな場面は本気で／振れ幅の大きさ
 自分のやりたいことの自己主張－友達のとやりたいこととの折り合いをつける
- 自分以外の人のためにも精一杯活動できる思いやりのある子
 自分の時間をけずってでも／友達を尊重する



《教師》 愛情・情熱・行動・専門性

※風の人として

- 子どもを信じ、「人間」として、「子ども」として、「大人になる成長過程にあるもの」として愛せる教師
- よりよいものを目指し、アイデアを現実化していく前向きな教師
 社会人としての常識、愚痴なし
 やってみたいことをやってしまう／周りを巻き込む
 → 「あとは〇〇が責任もつから」
- 子どものもつ力を引き出すことにエネルギーを注げる教師
 力をつける技量・責任／必要とあれば／枠を超えてでも／思い出
- 子どもに 保護者に 地域に 刺激を与えられる教師
 今の時代に必要なことを 新しい情報を
- 「教師力」の向上に向けて、専門性磨きに努力できる教師
 あの教科（領域）、指導、〇〇なら／よりよい教育活動の実践者



《保護者・地域》 愛情・協力

※地の人として

- 学校との家庭・地域との密接な関係 双方向性をもって
 参加・協力
 → 自分の意見をもった上での協力・交流（言い合える関係）
- 子どもにたっぷりの愛情を注ぐ保護者・地域



※《学校》 個の力 + 集団のよさ

- 多様な考え方を知り、折り合いを学び、これからの社会により必要となる最適解・納得解の導き出し方を現実の対応の中で学ぶ
- 個への対応を大事にするとともに、集団を大事にし、集団を育てる。集団での思考・活動を通して、集団のよさ、集団を構成する個のよさを実感し、集団とともに個が成長する。

保護者の皆様からの声をお待ちしています。

～学校に対するご意見・ご感想等お気軽にお寄せください（または assist.nihonmatsukita-e@fcs.ed.jp まで）～

..... 切り取り線